

科目名	疾病治療論Ⅱ (血液造血・呼吸・循環機能障害)					DP4 DP6	看護高等課程
学年	1年	分野	専門基礎 疾病の成り立ち	時間数	19時間	担当 教員	冬野 玄太郎 (10.5) 藤松 大輔 (8.5)
科目 概要	対象の状態を適切に観察するためには、人間の身体機能が障害された時の病態と症状のつながりや診断と治療を理解し、予測も含めた看護の視点が必要である。看護実践に生かすために血液造血・呼吸・循環機能障害時の病態・症状・診断・治療について学ぶ。						
到達 目標	1. 人間の身体の血液造血・呼吸・循環機能に障害が起きた場合の病態と症状のつながりを理解することができる。 2. 血液造血・呼吸・循環機能障害の代表的な疾患の診断や治療法を理解することができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～5	呼吸器疾患	主な徴候（身体所見）と検査、上・下気道（気管支、肺）の疾患（呼吸器感染症、免疫・アレルギー性疾患、気道系の非感染性疾患、肺実質の非感染性疾患、間質性肺疾患、肺循環障害、呼吸器の主要性疾患） 胸膜の疾患、縦隔の疾患				講義	冬野
	血液・造血器疾患	貧血（鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血・再生不良性貧血・溶血性貧血）、白血病、悪性リンパ腫 その他の血液・造血器疾患				講義	冬野
6～9	循環器疾患	心不全、ショック、不整脈、心臓弁膜症 虚血性心疾患、炎症（心筋・心膜炎）、心筋症 血圧異常、脈管疾患、先天性心疾患 そのほかの疾患				講義	藤松
10	試験	(1時間)				試験	
評価 基準	冬野(60点)、藤松(40点)の計100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	看護学入門3 疾病の成り立ち 病理学総論 看護学入門8 成人看護Ⅰ 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							